

事例

JAバンクによる小学生向けの食農教育教材の寄贈

JAバンク（東京都）

JAバンクでは、食農教育応援事業の一環として、平成20（2008）年度から、小学校高学年を対象とした補助教材を作成し、小学校に寄贈する活動を行っています。本教材は、子供の農業や食、自然環境、それらにかかわる金融や経済活動などに対する理解を育み、農業の拡大や地域の発展にも寄与することを願って作成しています。この食農教育・環境教育・金融経済教育を基本のテーマとした冊子で、私たちの生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す農業、環境と農業の関わり、安定した食の供給のための流通や農産物価格の決め方等について総合的に学習することで、児童・生徒が農業に対する理解を多面的に広げていくことができます。

また、平成24（2012）年度からは特別な支援を必要とする児童・生徒の学習実態に配慮して、ユニバーサルデザインの考えに基づいた特別支援教育版も寄贈しています。

さらに、わたしたちの暮らしと農業の関わりについての動画を作成し、ホームページ上で紹介しています。動画では、農作物にはいろいろなものがあり、自分たちのところに届けられるまでには多くの人が関わっていることを紹介しています。

今後も子供たちにより関心を持ってもらえる活動を進めてまいりたいと考えています。



冊子「農業とわたしたちの暮らし」